

2026年春季生活闘争

ベア1万7千円以上

賃上げ「格差拡大に歯止め」 粘り強く取り組む



JAM春闘方針を説明する浜博幸副書記長（左）
安河内賢弘会長（中央）、岩崎和人書記長（右）

第1回記者説明会を開催

「2026年春季生活闘争方針大綱」を議論した中央討論集会を受け、JAMはメディア・記者に向け2026年春季生活闘争方針大綱説明会を東京・友愛会館で開いた。

JAMの要求内容は、基本給の底上げをするベースアップ（ベア）月額1万7000円（5%）以上を基準、定期昇給相当分を含めた賃上げ総額2万1500円以上とした。

安河内賢弘会長は「24年と比較して25年春闘では、中小労組と大手労組との賃金格差が広がった。『26年春闘では格差拡大に歯止めをかけ、賃上げにぶれずに粘り強く取り組んでいく』と力を込めて記者団に語った。

春闘方針決定は2026年1月

春闘方針大綱を受け、今後は地方JAMで内容を討議。2026年1月16日第47回中央委員会でJAM方針を決定する。



TVカメラ(上)が入った会場の様子